



西京信用金庫オリジナルキャラクター
サイの京子ちゃん

SAIKYO SHINKIN BANK

2025年度

2025年4月1日 ~ 2026年3月31日

ミニレポート兼
〈第109期〉事業のご報告

ごあいさつ

平素は西京信用金庫に格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

ここに当金庫第109期(2025年度)事業の概要につきましてご報告申し上げますとともに、謹んでご挨拶させていただきます。



2025年度の我が国の経済は、賃金上昇や堅調な企業業績を背景として、個人消費や設備投資が拡大し全体的には緩やかな回復基調となりました。しかしながら、米国の関税政策による世界貿易の悪化や、中東情勢を巡る混乱の長期化により原油価格などが高騰することで、国内の経済の下押し圧力となることが懸念され、不確実性の高い状況が続いています。また、日本銀行の金融政策の変更に伴い市場金利が上昇しており、こうした動きに対するリスク・マネジメントの重要性が増しています。

このような環境の中で、信用金庫は取引先中小企業等の販路拡大、ビジネスモデルの再構築、経営改善支援、また、官民一体でのSDGsや脱炭素社会への取り組みなどを通じて地域のお客さまや社会が抱えている様々な課題の解決を図っていくことが求められています。このほか、マネー・ローndリング対策に向けた態勢整備、サイバーセキュリティ対策の一層の強化により、経営管理態勢の充実に引き続き尽力していく必要があります。

2025年度は、当金庫の3カ年経営計画の2年目であり、地域経済への支援と持続可能な地域社会の実現を目指して、6つの施策「成長性(預金・貸出金残高の伸長)」、「人材力の強化」、「顧客基盤の強化」、「収益性と生産性の向上」、「地域社会の課題解決と持続的発展を目指すSDGsの取り組み」、「リスク管理態勢の取り組み」を着実に実施してまいりました。これらの施策の実施状況は次の通りです。

- ①「成長性(預金・貸出金残高の伸長)」については、中長期的に持続可能なビジネスモデルを構築するため、預金・貸出金残高の伸長を図るべく、様々な催し物の開催によりお客さまとの繋がりを強め、価値ある課題解決策の提案やきめ細かなフォローアップによる地域の資金繰り支援や、お客さまの資産形成支援に迅速かつ積極的に取り組んでまいりました。
- ②「人材力の強化」については、お客さまに高度な金融サービス等を提供するため、職員の多機能化への取り組み、また、高度な専門的知識を活用するために、継続教育の態勢を整備してまいりました。
- ③「顧客基盤の強化」については、お客さまのニーズを理解し、お客さま本位の営業推進活動を行うことにより、長期的な信頼関

係の構築に向けて取り組んでまいりました。

- ④「収益性と生産性の向上」については、所有不動産の有効活用による収益性の向上や、徹底した経費削減と事務の効率化により生産性の向上に取り組みました。
- ⑤「地域社会の課題解決と持続的発展を目指すSDGsの取り組み」については、地域の防災力向上に向けた防災説明会の実施や、金融リテラシーの普及・向上活動として小学生向けの勉強会を実施しました。

また、「西京くだもの日」として、地域の子ども食堂へ季節の果物である「りんご」、「バナナ」、「すいか」、「柿」を寄贈する取り組みを継続して実施してまいりました。さらに、新たに地域の子どもたちを育てていく活動の一環として「西京こども募金」の取り扱いを開始いたしました。

また、「住み続けられるまちづくり」を推進するために、お客さまの防災対策をお手伝いしており、当金庫が東京都に提案し採用された「金融機関提案融資『そなえ』」や、1981年の耐震基準改正前の木造建築物を対象とした「耐震改修工事資金融資」等の防災関連融資商品を取り扱っております。

加えて、地域防災の一環として、杉並区、練馬区との連携により空家等対策に関する金融商品を開発し、空家の改修、解体費用等の融資を行っております。

これらの当金庫の取り組みは、国際的にも高い評価をいただいております。2025年9月に海外視察団が来庫し、2017年11月以降、延べ108カ国167名の海外行政機関の防災責任者の方々に、当金庫の地域防災力の向上に向けた取り組みをご説明いたしました。そのほか、脱炭素化の取り組みとなる事業運営に必要な資金のサポートとして「脱炭素応援資金」の取り扱いも行っております。

- ⑥「リスク管理態勢の取り組み」については、金融政策の正常化に向けたリスク管理態勢を強化してまいりました。また、不祥事件の未然防止態勢及び反社会的勢力排除のための態勢の強化に取り組むとともに、マネー・ローndリング対策等の重要課題に対する対応強化を進めております。

これらの基盤を固めた上で、地域防災力の向上や近隣の子ども食堂に果物を寄贈するなど「持続可能な地域社会の実現に向けたSDGsの取り組み」という思いやりのある地域貢献策に一層注力することにより、地域社会からの信頼を確保し、地域経済と皆さまの暮らしを全力でサポートする方針であり、そのために不断の経営努力を行う所存です。

何卒、皆さま方には今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 北村 啓介

西京信用金庫の概要

(2026年3月31日現在)

設 立	1918年11月16日
本 店	東京都新宿区新宿4-3-20
出 資 金	24億58百万円
会 員 数	33,440名
店 舗 数	27店舗
役職員数(契約職員含む)	341名
預金積金残高	6,778億4百万円
貸 出 金 残 高	3,826億84百万円

お客さま本位の業務運営に関する基本方針

- 1.『お客さまにとって最善の利益』を図るよう努めます。
- 2.お客さまの利益が不当に害されることのないように、『利益相反の適切な管理』を徹底します。
- 3.『お客さまに対して、重要な情報や手数料に関しては、特段の注意を払って分かりやすい説明』をいたします。
- 4.『お客さまにふさわしい商品とサービスの提供』をいたします。
- 5.『お客さま本位の業務運営を実現』するために、当金庫の職員に対しての研修を強化いたします。

役員一覧

(2026年6月18日現在)

理 事 長 (代 表 理 事)	北村 啓介
専務理事(代表理事)	長谷川貴宏
専務理事(代表理事)	塚越 千鶴
常 務 理 事	大神田 稔
常 勤 理 事	中澤 一之
常 勤 理 事	須崎 政彦
常 勤 理 事	佐藤 公一
理 事 (非 常 勤)	渡部 訓
理 事 (非 常 勤)	坂元 義明
常 勤 監 事	江原 保徳
員外監事(非常勤)	中川 純良
監 事 (非 常 勤)	大浦 淳

1年のあゆみ

4月	●新入職員12名入庫
4・5月	●「西京くだもの日」(第12回 バナナ)
6月	●第76回「通常総代会」開催 ●2024年度業績報告会&地域ふれあいコンサート開催 ●「西京落語の会」開催 (6月、9月、11月、2026年1月 全4回) ●防災定期預金を販売(販売期間6月2日～8月29日)
7・8月	●「西京くだもの日」(第13回 すいか)
8月	●「夏休み課外授業」開催
9月	●JICAの依頼により海外防災担当者へ防災活動を説明 ●「東京都よろず支援拠点」経営相談会を開催
10月	●第8回「年金友の会日帰り旅行」開催 (10月、11月 全8班)
11月	●「西京こども募金」取り扱い開始 ●「東京都よろず支援拠点」経営相談会を開催 ●販路拡大とDX化に向けた経営相談会を開催 ●特殊詐欺対策講演会&地域ふれあいコンサート開催
11・12月	●「西京くだもの日」(第14回 柿)
12月	●「西京講談の会」開催(12月、2026年2月 全2回) ●「年金プラス」「年金ふれあい」取り扱い開始 ●防災定期預金を販売(販売期間12月10日～2026年1月30日)
1月	●「創業スクール」開催
1・2月	●「西京くだもの日」(第15回 りんご) ●防災説明会開催(全7回) ●事業承継相談会開催
2月	●SEC主催特別講演会&地域ふれあいコンサート開催

総代会

通常総代会

2026年6月18日 第77回通常総代会を西京信用金庫 本店7階集会室において開催、次の事項につきいずれも原案通り承認可決されました。

〔報告事項〕

第109期(2025年4月1日から2026年3月31日まで)業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

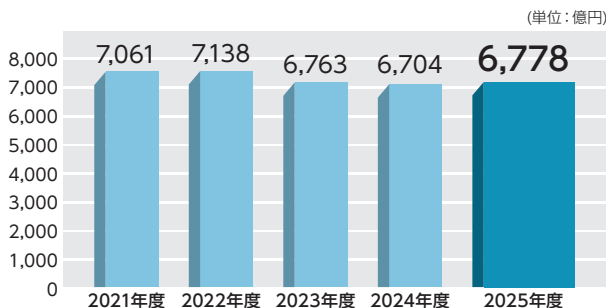
〔決議事項〕

- 第1号議案 剰余金処分案承認の件
- 第2号議案 定款一部変更の件
- 第3号議案 監事3名選任の件
- 第4号議案 定款第15条に基づく会員除名の件

預金積金・貸出金の状況

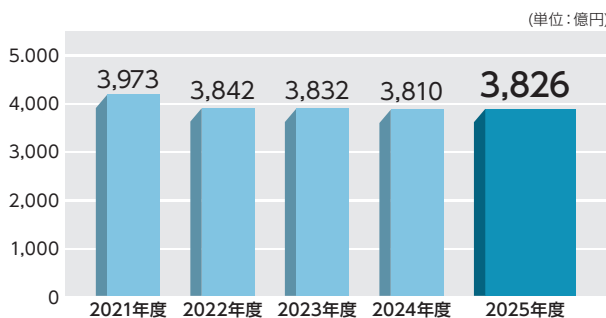
預金積金残高

預金積金残高については、2024年度に比べ73億円増加となり、6,778億円となりました。



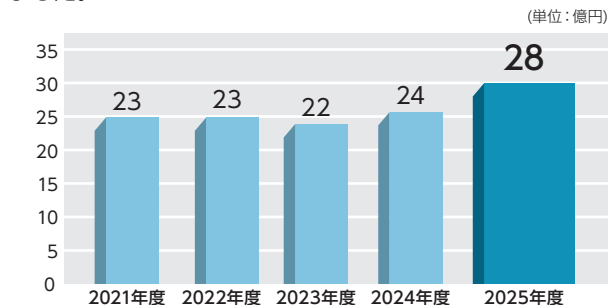
貸出金残高

貸出金残高については、2024年度に比べ16億円増加となり、3,826億円となりました。



本業利益の推移

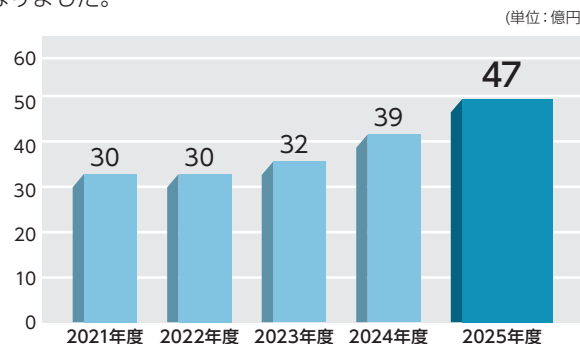
本業利益は2024年度に比べ3億円増加し、28億円となりました。



※本業利益 =
貸出金平残 × 預貸金利回差 + 役務取引等利益 - 経費

コア業務純益の推移

コア業務純益は2024年度に比べ7億円増加し、47億円となりました。



※コア業務純益 =
業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券5勘定戻

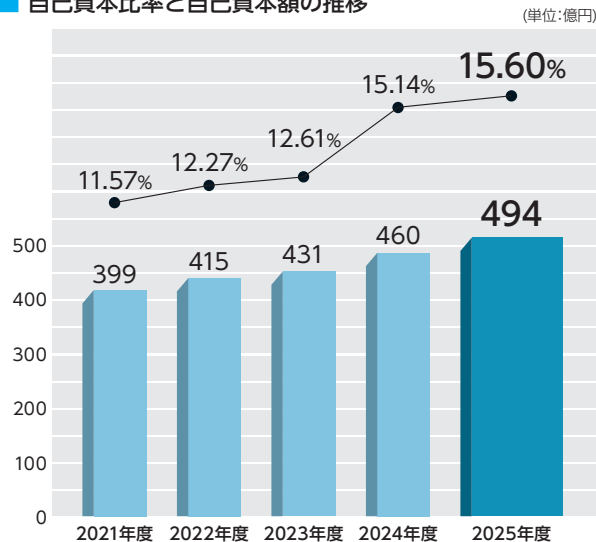
自己資本比率の状況

自己資本比率は、金融機関の経営の安全性、健全性を示す基本的な指標です。2025年度の自己資本比率は15.60%と国内基準である4%を大きく上回る高い水準を維持しております。今年度も着実に自己資本を積み上げ、十分な安全性を確保しております。

自己資本比率

自己資本額 494億円
リスク・アセット等計 3,169億円 $\times 100 =$ (自己資本比率) **15.60%**

自己資本比率と自己資本額の推移



※2024年度(2025年3月期)より新たな自己資本比率規制(バーゼルⅢ最終化)に基づき自己資本比率を算出しております。

不良債権の状況

2025年度の不良債権（信用金庫法開示債権及び金融再生法開示債権）は、2024年度に比べ同水準の150億円となりました。不良債権比率は0.02ポイント低下し、3.92%となりました。このうち、回収が確実に見込まれる担保・保証及び貸倒引当金で140億円を保全（保全率93.78%）しており、貸倒リスクに対して十分な備えをしております。

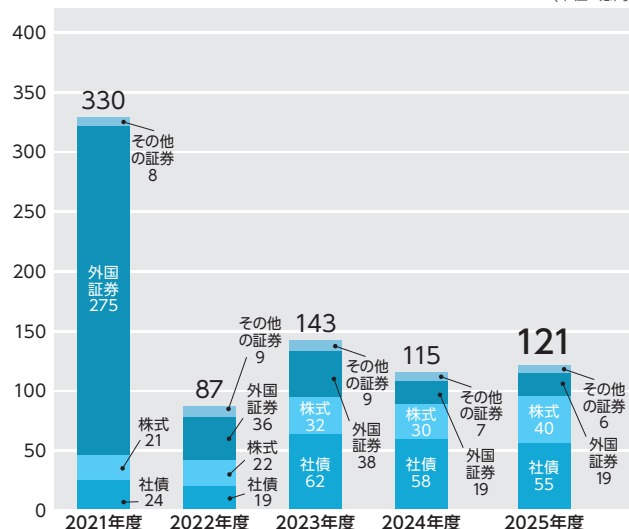
（単位：億円）

区分	2023年度	2024年度	2025年度
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	33	28	28
危険債権	137	120	121
要管理債権	1	1	0
三月以上延滞債権	1	0	0
貸出条件緩和債権	0	0	0
小計 (A)	173	150	150
保全額 (B)	160	139	140
個別貸倒引当金 (C)	23	22	18
一般貸倒引当金 (D)	0	0	0
担保・保証等 (E)	137	116	122
保全率 (B) / (A) (%)	92.78%	92.85%	93.78%
引当率 ((C) + (D)) / ((A) - (E)) (%)	65.28%	67.96%	66.45%
正常債権 (F)	3,663	3,663	3,680
総与信残高 (A) + (F)	3,836	3,813	3,830

有価証券の状況

有価証券残高は、2011年度末の2,316億円をピークとして政策的に圧縮し、市場リスクを大幅に回避しております。これにより、経済的ショックが発生したとしても影響を受けにくい財務構造となっております。

（単位：億円）



総代会制度について

1. 総代会制度とは

信用金庫は会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人一人の意見を尊重し、経営に反映させる協同組織金融機関です。会員は、出資口数に関係なく一人一票の議決権を持ち、総会を通じて信用金庫の経営に参加することとなります。しかし、会員数が大変多いため「総会」に代えて「総代会」を採用することが認められております。当金庫におきましては、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため「総代会」制度を採用しております。

この総代会は、決算の承認、理事・監事の選任、定款変更、会員の除名等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。そのため総代会は、総会と同様に会員一人一人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されております。

また、当金庫では総代会に限ることなく日頃の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切にし、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

2. 総代の任期・定数および選任方法

(1) 総代の任期・定数

任期：3年 定数：120人以上150人以内

(2) 総代の選任方法

総代は会員の代表として、会員の意見を金庫の経営に反映させる重要な役割を担っております。そこで、総代の選考については、総代選任規程に基づき、下記の手順にて選任しております。

① 会員の中から総代候補者選考委員を選任する。

- ・総代会の決議に基づき理事長が総代候補者選考委員を委嘱する。

- ・総代候補者選考委員の氏名を店頭掲示する。

② 総代候補者選考委員が総代候補者を選考する。

- ・総代候補者氏名を店頭掲示する。

③ 総代候補者を会員が信任する（異議があれば申し立てる）。

- ・所定の手続きを経て会員の代表として総代を委嘱する。

【選任区域の会員数と総代数】

2026年3月31日現在

区域	会員数	総代数	選任区域	区域	会員数	総代数	選任区域
第1区	2,671名	10名	新宿区	第7区	3,645名	14名	渋谷区、大田区、品川区、目黒区、世田谷区、江東区、墨田区、港区、千代田区、中央区、江戸川区、葛飾区
第2区	8,465名	32名	練馬区				
第3区	5,951名	22名	中野区				
第4区	1,906名	7名	台東区、荒川区、足立区、文京区、豊島区	第8区	3,203名	12名	西東京市、小平市、清瀬市、東大和市、東村山市、東久留米市、新座市、所沢市、入間市、狭山市
第5区	3,757名	14名	杉並区、調布市、三鷹市、府中市、国分寺市、小金井市、武蔵野市				
第6区	3,842名	14名	板橋区、北区、和光市、朝霞市、志木市				
合 計					33,440名	125名	

貸借対照表

2026年3月31日現在 (単位：百万円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
現 金	6,693	預 金 積 金	677,804
預 け 金	316,052	当 座 預 金	10,628
コ ー ル ロ ー ン	9,000	普 通 預 金	296,521
有 価 証 券	12,181	貯 蓄 預 金	1,445
国 債	—	通 知 預 金	764
地 方 債	—	定 期 預 金	353,577
社 債	5,538	定 期 積 金	9,257
株 式	4,009	そ の 他 の 預 金	5,611
そ の 他 の 証 券	2,633	借 用 金	4,701
貸 出 金	382,684	借 入 金	4,701
割 引 手 形	466	そ の 他 負 債	3,668
手 形 貸 付	31,340	未 決 済 為 替 借	234
証 書 貸 付	348,788	未 払 費 用	958
当 座 貸 越	2,089	給 付 補 填 備 金	5
外 国 為 替	6	未 払 法 人 税 等	1,316
外 国 他 店 預 け	6	前 受 収 益	417
そ の 他 資 産	6,234	払 戻 未 済 金	16
未 決 済 為 替 貸	224	職 員 預 り 金	23
信 金 中 金 出 資 金	4,045	資 産 除 去 債 務	51
前 払 費 用	32	そ の 他 の 負 債	644
未 収 収 益	1,223	賞 与 引 当 金	151
そ の 他 の 資 産	708	退 職 給 付 引 当 金	1,046
有 形 固 定 資 産	12,760	役 員 退 職 慰 労 引 当 金	446
建 物	4,283	睡 眠 預 金 払 戻 損 失 引 当 金	103
土 地	8,154	偶 発 損 失 引 当 金	158
建 設 仮 勘 定	13	再 評 価 に 係 る 繰 延 税 金 負 債	1,546
その他の有形固定資産	309	債 務 保 証	189
無 形 固 定 資 産	309	負 債 の 部 合 計	689,816
ソ フ ト ウ ェ ア	29	(純 資 産 の 部)	
その他の無形固定資産	280	出 資 金	2,458
前 払 年 金 費 用	485	普 通 出 資 金	2,458
繰 延 税 金 資 産	381	利 益 剰 余 金	46,749
債 務 保 証 見 返	189	利 益 準 備 金	2,494
貸 倒 引 当 金	△ 2,723	そ の 他 利 益 剰 余 金	44,254
(うち個別貸倒引当金)	(△1,849)	特 別 積 立 金	32,500
		当 期 末 処 分 剰 余 金	11,754
		処 分 未 済 持 分	△ 9
		会 員 勘 定 合 計	49,198
		そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	1,782
		土 地 再 評 価 差 額 金	3,458
		評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	5,241
		純 資 産 の 部 合 計	54,439
資 産 の 部 合 計	744,256	負 債 及 び 純 資 産 の 部 合 計	744,256

損益計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで (単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
経 常 収 益	11,357,113	そ の 他 業 務 費 用	6,161
資 金 運 用 収 益	10,160,034	そ の 他 の 業 務 費 用	6,161
貸 出 金 利 息	7,634,797	経 費	4,592,901
預 け 金 利 息	2,123,602	人 件 費	2,499,988
コールローン利息	157,081	物 件 費	1,841,786
有価証券利息配当金	152,524	税 金	251,126
その他の受入利息	92,027	そ の 他 経 常 費 用	215,587
役 務 取 引 等 収 益	774,865	貸 出 金 償 却	23,872
受入為替手数料	281,486	そ の 他 資 産 償 却	4,755
その他の役務収益	493,378	その他の経常費用	186,959
そ の 他 業 務 収 益	20,879	経 常 利 益	4,984,744
外国為替売買益	7,770	特 別 利 益	12,093
国債等債券売却益	1,454	固 定 資 産 処 分 益	12,093
その他の業務収益	11,654	特 別 損 失	132,420
そ の 他 経 常 収 益	401,334	減 損 損 失	132,420
貸倒引当金戻入益	317,520	税 引 前 当 期 純 利 益	4,864,417
償却債権取立益	49,694	法人税、住民税及び事業税	1,346,895
その他の経常収益	34,119	法 人 税 等 調 整 額	△143,800
経 常 費 用	6,372,368	法 人 税 等 合 計	1,203,095
資 金 調 達 費 用	1,310,458	当 期 純 利 益	3,661,321
預 金 利 息	1,287,312	繰 越 金 (当 期 首 残 高)	8,083,786
給付補填備金繰入額	4,917	土 地 再 評 価 差 額 金 取 崩 額	9,486
借 用 金 利 息	18,109	当 期 末 処 分 剰 余 金	11,754,594
その他の支払利息	119		
役 務 取 引 等 費 用	247,259		
支払為替手数料	76,787		
その他の役務費用	170,471		

剰余金処分計算書

2025年4月1日から2026年3月31日まで (単位：円)

科 目	金 額
当 期 末 処 分 剰 余 金	11,754,594,844
積 立 金 取 崩 額	35,875,550
利 益 準 備 金 限 度 超 過 取 崩 額	35,875,550
合 計	11,790,470,394
剰 余 金 処 分 額	1,049,158,163
普 通 出 資 に 対 す る 配 当 金 (年2%)	49,158,163
特 別 積 立 金	1,000,000,000
繰 越 金 (当 期 末 残 高)	10,741,312,231

2026年6月18日開催の第77回通常総代会で報告を行った貸借対照表、損益計算書及び承認を得た剰余金処分計算書は、当金庫監事並びに太陽有限責任監査法人の監査を受けております。

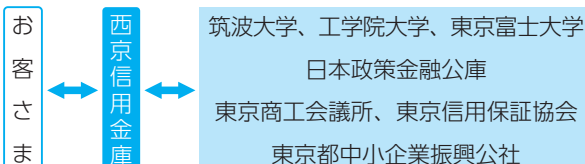


地域のお役に立てる 金融機関を目指しています

企業支援・地域経済活性化への取り組み

当金庫は協同組織金融機関として、経営理念の一つである「豊かな地域社会の実現と中小企業の健全な発展に寄与する」ことを念頭に置いて、地域になくてはならない金庫を目指しております。

外部機関との連携



創業者支援への取り組み

当金庫は特定創業支援等事業として新宿区内の創業者を対象とした「創業スクール」を開催し、創業者の支援育成に取り組んでおります。

「まち・ひと・しごと創生総合戦略」への取り組み

当金庫では、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に関して、各自治体が作成した総合戦略推進のため、地域防災、制度融資、創業支援、商店街活性化などを中心に各市、区と協調し取り組んでおります。

年金無料相談会

社会保険労務士による年金無料相談会を開催しております。書面による相談のほか、店頭でWEBを通じての本部専担者とのご相談も可能です。

事業承継計画の策定支援

東京都の事業「地域金融機関による事業承継促進事業」の専門家派遣を通じて、事業承継を迎える事業者の方の事業承継計画の策定支援を行っております。

「東京都よろず支援拠点」個別相談の実施

売上拡大やWEB活用等の経営課題に対して、東京都よろず支援拠点の専門家による個別相談を随時行っております。

地域の防災力向上に向けた取り組み

当金庫は地域貢献の一環として、地元地域の活力を根こそぎ奪ってしまう大災害に備えて、災害に強い街づくりを目指し様々な取り組みを行っております。

防災対策の周知活動として、営業店での「防災対策説明会」の開催、また、商店街や町会などの会合にてご説明を行い、2026年3月末日現在で21,500名を超える皆さまに防災対策の取り組み等を紹介いたしました。

「防災対策融資商品」

当金庫では、「住み続けられるまちづくり」を推進するために、2014年6月より都内事業者の防災対策の問題解決に資する融資制度として東京都と連携した西京防災融資『そなえ』を取り扱ってまいりました。2022年10月には新たに「金融機関提案融資」として採用され、2024年10月より制度拡充して、引き続き西京防災融資『そなえ』を取り扱っております。また、『そなえ』と併用することで返済期間を延長し、毎月の返済負担額を軽減可能とする当金庫独自融資『そなえⅡ』も取り扱いをしております。

さらに、1981年5月以前(旧耐震基準)の木造建築物を対象とした『耐震改修工事資金融資』など、お客さまの防災に対する様々なニーズにお応えし、近年社会問題化している空家等対策問題にも対応する商品を取り揃えております。

「防災定期預金」

本商品は、販売合計金額から一定の割合を当金庫が負担し、本部をはじめ拠点となる営業店に防災用品の備蓄しております。

なお、備蓄している防災用品(大人用・子供用紙おむつ、簡易トイレ、生理用品など)は災害時に地域の皆さまに配布いたします。



◀備蓄風景(鷺宮支店)

TOPICS

JICAの依頼による海外防災担当者の迎え入れについて

当金庫では、2017年11月よりJICA（独立行政法人 国際協力機構）からの要請を受け、各国の大臣等の要人をはじめ、海外行政機関の防災責任者の方々にも当金庫の地域防災力向上に向けた取り組みを紹介してまいりました。2025年度は9月に海外防災担当者へ当金庫の防災活動の説明を行い、これにより、延べ108カ国、167名の視察団の方々へ当金庫の防災の取り組みについて紹介いたしました。



子ども食堂への果物寄贈

当金庫では2022年7月から「西京くだものの日」という取り組みを実施しております。季節の果物を、当金庫とお取引のある地域の八百屋さんから購入し、近隣の子ども食堂に寄贈しております。子ども達には「優しい大人が見守っているから安心して健やかに育てほしい」という想いで果物を届けており、子ども食堂からは、「季節ごとに変化のある果物をいただいて子ども達もよこんでいます」などという声が届いております。今後も果物の寄贈を通して、子ども達の明るい笑顔を見守っていき考えております。



▲保谷支店 子ども食堂おひさまキッチン

業績報告会&地域ふれあいコンサート

当金庫では、決算時ならびに中間決算時に金庫の経営内容を開示しております。2025年6月には業績報告会を開催し、お客さまに経営内容を説明いたしました。業績報告会終了後には、親しみやすい名曲を集め、お客さまに「憩いのひととき」を楽しんでいただけるよう「地域ふれあいコンサート」を開催いたしました。



特殊詐欺対策講演会&地域ふれあいコンサート

講演会では新宿警察署の方から特殊詐欺の手口と具体的な防止対策についてご講演いただき、講演会終了後は「秋暁のジャズの旋律」と題したミニコンサートを開催いたしました。



脱炭素化支援事業の取り組み

2024年10月から「脱炭素支援事業」を開始いたしました。取引先の脱炭素に向けた様々な希望に応える手順として、当金庫から東京都の脱炭素事業事務局へ専門家派遣を依頼し、取引先、専門家および当金庫職員と面談の上、課題解決に向け伴走しながら取り組む事業になります。主な脱炭素化事業として、温室効果ガスの測定などを通じて、光熱費や燃料費の削減などのアドバイスを行い、設備投資が必要となれば、補助金および助成金の申請手続支援などを行うものになります。資金調達の要請に応えるため、2024年12月西京脱炭素サポートローン「脱炭素応援資金」を制定いたしました。



本誌記載金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。

地域に広がる“さいきょう”のネットワーク

— 2026年6月18日現在 —

(阿佐谷支店以下50音順)

店舗名	店番号	所在地	電話番号
本店営業部	001	新宿区新宿4-3-20	03-3356-7111
八重洲口営業部・銀座支店	050-008	中央区銀座1-5-12	03-6228-7177
阿佐谷支店	005	杉並区梅里2-18-10	03-3312-8111
池袋支店	003	豊島区西池袋1-44-1	03-3971-0291
江古田支店	029	練馬区栄町44-7	03-3993-7611
大泉支店	032	練馬区東大泉3-20-8	03-3921-1211
大山支店	006	板橋区大山町3-5	03-3956-4136
上井草支店	012	杉並区井草5-6-6	03-3395-2171
北町支店	030	練馬区北町1-30-4	03-3931-0131
清瀬支店	035	清瀬市松山1-5-4	042-492-5415
鷺宮支店	031	中野区鷺宮4-44-10	03-3339-2221
雑司が谷支店	017	豊島区目白2-16-19	03-3982-5031
中野支店	002	中野区本町4-44-13	03-3383-2511
新座支店	038	新座市片山1-15-24	048-479-1183
西荻窪支店	026	杉並区西荻北3-16-6	03-3395-2611
西新宿支店	014	新宿区西新宿5-4-7	03-3374-4300
沼袋支店	016	中野区沼袋1-37-2	03-3387-8171
練馬支店	028	練馬区豊玉北5-14-3	03-3993-4311
野方支店	021	中野区野方6-31-10	03-3338-6111
蓮根支店	034	板橋区蓮根1-28-14	03-3960-4271
原宿支店	046	渋谷区神宮前2-32-3	03-6438-9731
東中野支店	010	中野区東中野3-8-9	03-3369-6151
氷川台支店	036	練馬区氷川台3-33-3	03-3937-0411
富士見台支店	011	練馬区富士見台2-1-14	03-3990-1161
保谷支店	033	西東京市東町3-11-26	042-421-4111
南中野支店	007	中野区弥生町4-24-1	03-3381-8176

本部関係

本部	新宿区新宿4-3-20	03-3356-7121
営業店支援センター	練馬区氷川台3-33-3	03-6281-0779

※全店舗のATMコーナーに「ICキャッシュカード対応ATM」「通帳繰り越しATM」「視覚障がい者用ハンドセット付ATM」を設置しています。

